



誠信女子大学校

Sungshin University



大韓民国

●学部学生 13,000人 ●大学院生 250人 ●教職員 680人

ホームページ <http://www.sungshin.ac.kr/senglish.html>

交流協定締結年月日：2011年2月21日 主管学部：教育学部



ソウル市内キャンパス



卒業・修了制作展に参加



国際交流の特色

誠信女子大学は、1936年誠信女学校として設立され、1979年に誠信女子大学と改名し、1981年には総合大学に昇格した。現在は13学部49専攻があり、メディアコミュニケーション学科、看護学科、ビューティー産業学科などで有名です。学部、附属高校、語学センター、博物館などの組織されている。誠信女子大学は師範学校から出発していることもあり、その校風は作法・礼儀を身に付けることを尊重し、現在に至るまで受け継いでいる。学部は女子のみであるが、大学院は男女共学である。キャンパスはソウル市内に有り、交通の便も良い立地条件である。

交流実績（令和3年度～令和5年度）

年度 \ 年度	R3	R4	R5
受入・派遣			
学生の受入	0	0	2
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	0	0	0
オンライン交流参加者（本学）	0	0	0
オンライン交流参加者（相手機関）	0	0	0



交流の様子

令和5年度は2名の留学生が1年間、香川にやってきました。1名は人文科学部で日本文化を学んでいる学生、もう1名は知識サービス工科学部でセキュリティ工学を学んでいる学生です。教育学部とは専攻が違いますが、香川大学の学生とともに積極的にコミュニケーションを図り、日本文化を学び、体験していました。

お互いに自分たちの生活や文化を紹介しあうことで、改めて気がつくことや感じることなどが多くあり、交流することの楽しさや学びを感じました。

学生からの声

僕は、誠信女子大学で1年間、西洋美術を専攻しました。初めに、どうして男子が女子大に通えるのかと指摘がありそうですが、交換留学生は大丈夫です。門に入る時には少し目線が痛いですが、すぐに慣れます。授業は韓国語が主なので少し大変ですが、日本語ができる教授や英語の授業もあるので、美術専攻で留学した身としてはすごく勉強になりました。韓国はおいしいものが沢山あります。学校の近くにある食堂に入れば、ピビンパやユッケジャンがとても安い値段で食べられます。また、大学はソウル市内にあるので、周辺には楽しめる場所が沢山あります。まず退屈しません。他にも、近いけど違う韓国という文化を通して肌で感じることができ、とても新鮮で面白いので、是非興味がある方は来て見てください。

(2010年度留学生)